

# 枚岡合金工具株式会社

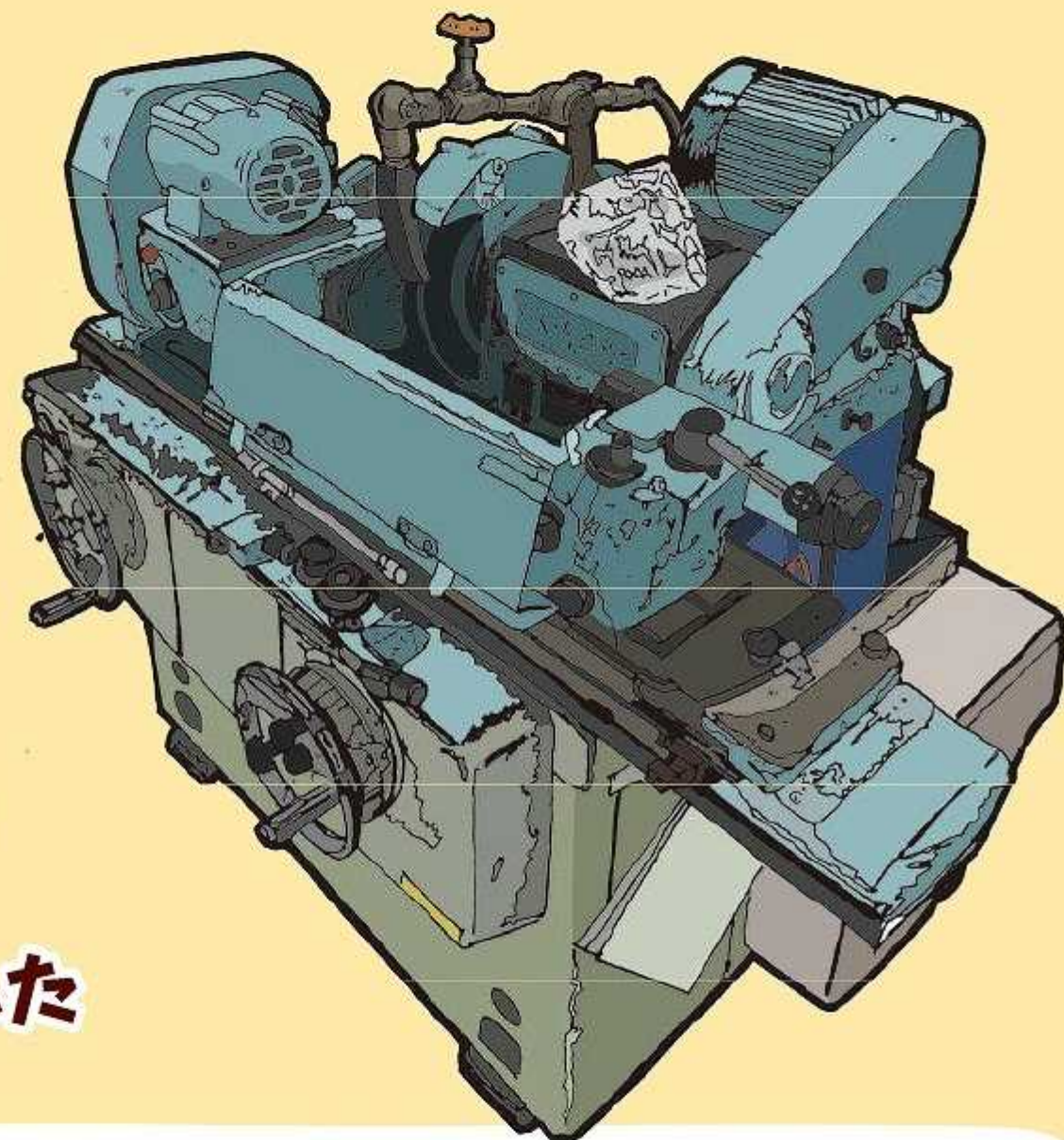
代表取締役社長 古芝 義福さん



ムダとは  
誰の役にも  
たたないこと



情報の  
発信の仕方で  
大手にも勝てる!



## 瀕死状態だった会社が3S活動で復活 売上アップ、社員のモチベーションもアップしました

父が東大阪の枚岡神社近くで創業し、兄が継ぎ、私が3代目になります。バブルの時には従業員9名で月4000万円もの売上があったのですが、バブル崩壊とともに売上も激減。まじめにコツコツやっていたら大丈夫だと思っていましたが、気づいた時には会社は瀕死状態でした。平均年齢も57歳。10年後も存在しているのか?と考えると答えは明白で、おそらく続

いていないでしょう。今、会社を変えなければと当時、社長をしていた兄があちこちの勉強会に参加するなか、たどり着いた答えが「3S活動」でした。3Sとは、整理、整頓、清掃です。

ただ、技とカンで働いてきた職人に3Sを求めても反発は大きく、衝突することもたびたび。乗り越えるには5年かかりましたね。それでも3Sをやってよかったと本当に思います。3S活動

で社員のモチベーションがあがり生産クオリティがアップ、結果、本業の金型注文が増え、売上拡大。さらに、情報の3Sとして開発した独自システム「デジタルドルフィンズ」も、今では売上の3割を占めるなど、新事業を立ち上げることもできました。

社風や会社独自の文化というのは、お金では買えません。それが築ければ、オンリーワン

になれるんです。自社のドメイン、つまり組織をブラッシュアップすれば、必ず会社の価値はあがるはずです。そのために、3Sを社内に取り入れ、実践していくことが中小企業の生き残る道だと思います。



## 創業以来の金型製作に加えデータ管理システム、3Sに関する講演・コンサル事業・工場見学の3本柱で活動

創業から60年以上、金型一筋に取り組んできた。製造において同社が大切にしているのは、お客様の利益になり、コスト削減につながるもの。耐久性の高い高寿命の金型を作れば、交換や修理の依頼回数が減るので、同社にとってはデメリットだが、お客様の利益に貢献できる。切削では無理、鍛造での成形も難しいといった加工材でも、チームワークを活かし形にする。それが信頼につながり、オーダーが絶えず、安定的な売上を維持している。

その生産性を支えているのが、3S（整理、整頓、清掃）活動だ。3S活動を行うまでの同社は、モノの置き場所が決まらず、必要な工具を探すのに時間がかかり、掃除も行き届いていない状態。これでは場所・時間・お金のムダ。そのムダを徹底的になくすことで、場所のゆとりはスタッフがゆっくりできる休憩所を作り、整理・整頓を行うことで安全に仕事をすることができるようになった。さらに工具や道具、ものを探すムダな時間をなくせば時短につながり休日増や残業時間の劇的な削減を実現。結果、余分な経費を削減し、利益を出すことができ、社員の収入に還元できたり福利厚生を充実させることができる。それが社員のモチベーションアップにつながり、質

の高い仕事ができ、顧客満足につながるという、いい形での連鎖を生み出している。3S活動により、金型制作のリードタイム、つまり受注から納品までの期間も大幅に短縮。以前は20日かかっていたものが5日で金型に仕上げられる。社内の作業効率を工夫することで品質を落とすことなくリードタイム短縮につなげるので、お客様からの満足度も高い。

3Sを進めるなかで、書類や情報の3Sも必要だと考え、自社で生産管理システムを開発するなどシステム力を活かし、書類や図面の管理を効果的にできるデータベースソフト【デジタルドルフィンズ】を2003年に開発。現在、製造業やホテル、ネイルサロン、サービス業、土業など様々な業界で120社もの企業で導入されている。

3S活動は、やればやるほど効果がでる。モノを探すことを減らし、ムダを減らすことを徹底し、売上に結びつく活動をすれば勤務時間の短縮になる。実際、同社ではおおよそ1人あたりの月間残業が65時間から、現在では15時間にまで激減。3Sを通じて、新しい事業も生まれている。3Sに清潔、しつけを加えた5S運動にも力を入れ、3Sでの効果が長く続くよう会社全体で取り組み続ける。

社内には事務スタッフ以外に、専用デスクはない。営業の資料整理など共有のパソコンで仕事をしています。ミーティングもここで行うことが多い。基本、営業活動は外でやるので個人用のデスクはほとんどない。という考えです。

なれたら気になりませんよ

次に使う人のことを考えるようになりました

人に教えることで自分が学べるんです

見学者の方にレクチャーもします

トピックを勝負したの  
結果は大きく  
勝ちました

企業のストーリーに共感してもらおうと強いです

我が社の自慢

3S活動の効果を実際に見てもらい、3Sのヒントにしてほしいと2001年から工場見学会を開催。これまで480回もの見学会を行い、海外30カ国からも工場見学に来られた。さらに会長・古芝保治さんが3Sについての実践テクニック講座を開催したり、東京や兵庫、香川、広島でコンサルティング活動も行っている。

工場見学会や講演活動で3S活動を伝える日本のものづくりを元気にしたい！

